

【保存版】避難カードの書き方

5ページ目

大和川浸水想定区域



区域A・区域B・区域Cの地域を記載しています。

区域A	1時間で50cm浸水する区域
区域B	1～3時間で50cm浸水する区域
区域C	3時間以上で50cm浸水する区域

避難行動を判定する際の参考資料となる内閣府のホームページや、災害時に活用できる気象庁などのホームページを紹介しています。

1ページ目

地震発生から概ね30分の行動



災害が発生した時、とっさの行動ができない場合があります。あらかじめ避難場所や避難方法、やるべき事などを決めておきましょう。

- ・地震発生時の身を守る行動を考えておきましょう。
- ・揺れがおさまって一時避難が必要なときの行動を確認しておきましょう。

6ページ目

台風・高潮



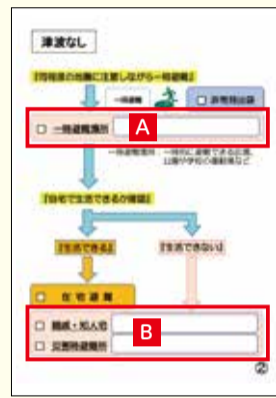
台風は暴風雨、高潮に注意が必要です。雨が多い台風の場合、河川氾濫(4、5ページ)についてもご注意ください。また、過去最大級の巨大台風の接近で高潮による浸水のおそれがある場合、令和2年9月から、大阪市より避難情報をお伝えします。

台風は、接近までの日数がわかるため、気象情報や自治体からの避難情報、自主避難所の開設情報などを収集し、早めに避難しましょう。

- ・親戚・知人宅など複数の避難先を検討しておきましょう。

2ページ目

地震 津波なしの行動



地震発生後の津波あり、津波なしで次の行動が変わってきます。

**A**欄には、近くの公園や町会などで決めている場所など、安全な場所を書きましょう。小・中学校などの運動場も一時避難場所となります。

**B**欄には、在宅避難できない場合の避難先を書きましょう。

- ・親戚・知人宅など複数の避難先を検討しておきましょう。

7ページ目

ご自身とご家族の情報



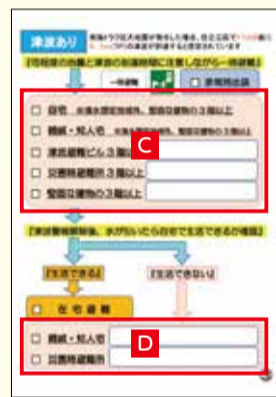
携帯電話が使用できなくなる場合などに備えて、ご家族の情報なども記入しておきましょう。

**F**欄には、自分自身の情報を書いてください。持病や薬について書いておくことも重要です。

**G**欄には、家族の連絡先を書いてください。

3ページ目

地震 津波ありの行動



南海トラフ巨大地震が発生した場合、住之江区では110分後に5.1mの津波が到達すると想定されています。避難が必要な方は、堅固な建物の3階以上に避難しましょう。

**C**欄には、避難が必要な方は、どこに一時避難するかを書きましょう。

**D**欄には、在宅避難できない場合の避難先を書いておきましょう。

- ・実際に歩いて避難先の場所や入口の確認しておきましょう。

8ページ目

コロナ禍での避難行動



3密を避けるために在宅避難や親戚・知人宅などの避難先の検討をお願いします。(分散避難) なお、命の危険が迫っている状況では迷わず、最善の避難行動をとってください。コロナ禍での避難所では、検温、健康チェックを行ったうえで、避難スペースを分けて入所していただきます。

避難所では健康チェックにご協力をお願いします!



4ページ目

河川氾濫



住之江区は大和川に隣接しているため出水期の大和川の水位に注意が必要です。

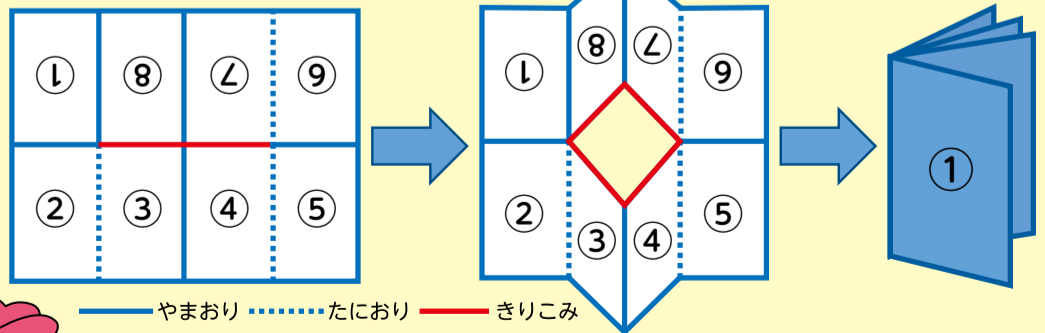
大和川が氾濫した場合の浸水する時間に応じて区域A、区域B、区域Cと区分しており、水位の上昇に伴って段階的に避難情報が発令されます。

**E**欄には、自宅の浸水想定を確認し、避難が必要な方は、どこに一時避難するかを書きましょう。

- ・避難情報に注意し、早めに避難しましょう。

左上へ

【避難カードの折り方】



— やまおり — たにおり — きりこみ

避難カードの書き方や折り方についてはホームページも合わせてご覧ください。(避難カードの印刷も可能です。)



問 区協働まちづくり課 窓口④番 防災担当

☎6682-9974

お知らせ

住之江区役所では防災力強化プログラムとして、大阪市立大学と協働し、防災学習や防災イベントを実施します。詳細が決まり次第、ホームページなどでお知らせします。

完成した避難カードは、災害の備えに役立ててください。それが命を守る行動につながります。

